令和6年度 事業報告（案）

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

1 通常総会

- ・日時：令和6年6月27日（木）10時～12時
- ・会場：群馬県昭和庁舎3階34会議室
- ・参加者：16名（会長予定者1、理事長1、理事2、監事1、個人会員8、法人会員2、団体会員1）、ほか事務局員3名

2 訓練参加・講演会開催等

（1）総会時研修

- ・講師：社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会
社会福祉支援センター 主任 渡辺 匠海 氏
- ・日時：令和6年6月27日（木）
- ・会場：群馬県昭和庁舎3階34会議室
- ・参加者：個人会員等19名（総会参加者）

（概要）

災害ボランティア活動を行う際に基点となる災害ボランティアセンターの今時の様子を学び、実際に参加する際、地元発災時の受援の在り方を考える機会とした。

- ・能登の震災と被害の状況を踏まえて、工夫しながら石川県内各地の地域毎の事情に応じて運営された災害ボランティアセンターの実情を知る機会であった。
- ・災害ボランティアセンターは、いかなる場合にも、派遣者も含めて、社協職員がスタッフとなって運営されるものであることを把握。災害ボランティアとしての参加の仕方、地元発災時の行動や協力は如何にあるべきか等の仕方を想像・推量しつつ聴講した。

（2）協働側災害ボランティアセンター研修（県社協と県が協働開催）を聴講 同講演内容を文字起こししてホームページに掲出（県による掲出許可受）

【研修内容】

- ・講師：一般社団法人BIG UP石巻 阿部由紀 氏
県内社協（高崎市社協、館林市社協）職員
NPO法人よりきど暮らしの会 月橋 章 氏
- ・日時：令和6年11月19日（水）
- ・会場：群馬県社会福祉総合センター 講演会場
- ・参加者：個人会員等13名、事務局4名
- ・内容：東日本大震災や能登半島震災等にかかる支援と在り方
各市社協職員による能登半島での災害VCの実際の報告
能登半島被災地支援炊き出し活動の取組の実際

3 その他

■総合防災訓練について

- ・群馬県が行う訓練では、開催方針が変わり、災害ボランティアが参加する場面がなくなり、訓練が行えなかった。（訓練自体は、10月に前橋市で行われた）
- ・富岡市が行ってきた訓練は、隔年開催となった。令和6年度は、開催が無い年度となり訓練は行えなかった。

■市町村もしくは市町村社協の行う関係の催し

- ・開催情報を把握した催しは、ホームページに掲載し案内した。参加は各自が直に申し込む方式とした。